

# 令和元年度「八Pアンケート」の結果について（報告） 八幡小学校

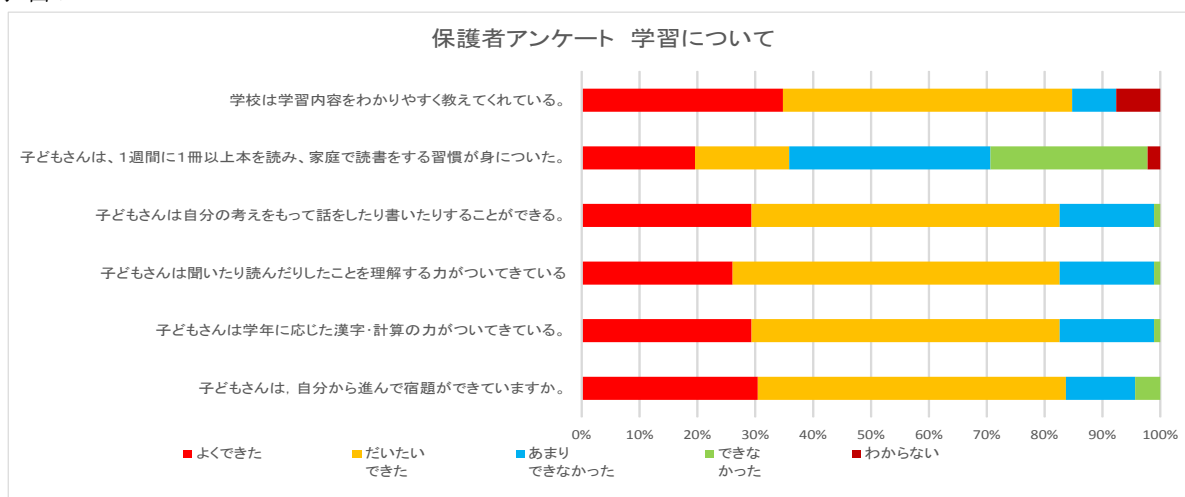
令和元年3月17日

「八Pアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

今回のアンケートからたくさんのご示唆をいただきました。結果等をしっかり踏まえ、今後の教育活動がよりよいものとなるよう改善を加え、子どもたちが、校訓のように「力いっぱい」活動でき、保護者・地域の皆さんに信頼される学校づくりに教職員一同、全力で取り組んでいきたいと思っております。今後ともご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

## 保護者アンケート調査結果の考察

### (1) 学習について



#### <結果と考察>

昨年に引き続き、ほとんどの項目について、肯定的な評価「よくできた」「だいたいできた」が80%を上回っており学習活動がおおむね良好な状態であると評価をいただきました。

しかし、家庭での読書については、昨年度より向上していますが、まだまだ肯定的な評価が低く、読書習慣が身につけていないという課題がみられます。学校では、「読み聞かせ」や「朝の読書」、「授業における読書活動」「図書委員会による読書推進活動」など子どもたちが読書に興味を持てるようにしていますが、まだ不十分であるということが分かりました。

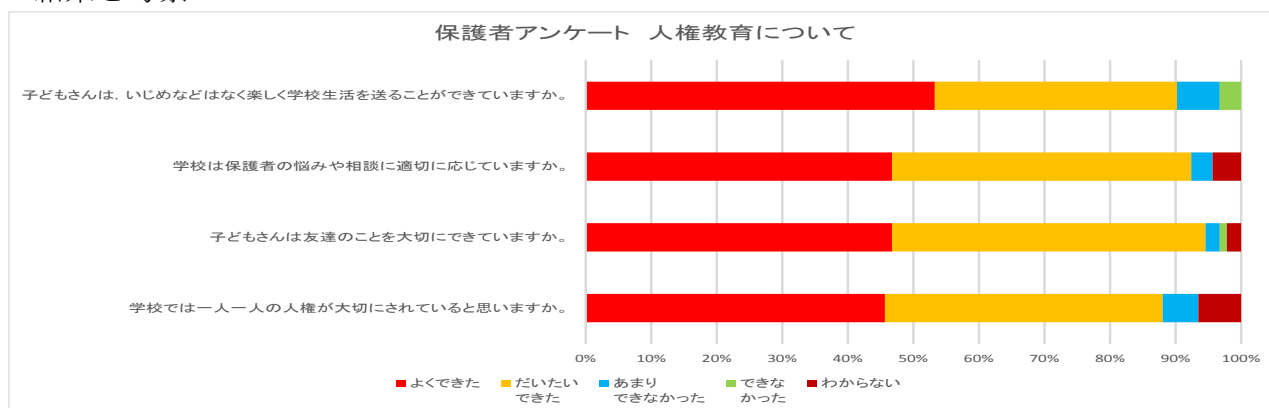
#### <次年度に向けて>

本年度も児童が主体的な学習ができるよう工夫し、全学年での学びタイムを設け、漢字・計算等の基礎的な学力の定着と自分の意見をまとめて書いたり話したりする表現力の向上を図ることを目標に取り組んできました。これからもより分かりやすい授業を展開し、個別に支援をできる時間を確保し、子どもたちの学力向上に向けて取り組んでいきます。

また、読書活動については、日課表の見直しを図り、学校での読書時間を多く確保し、読書の習慣を身につけています。家庭でも親子読書やノーゲームデーを設けて、進んで本を読もうとする習慣と家庭読書の時間の確保をしていきたいと思っております。

### (2) 人権教育について

#### <結果と考察>



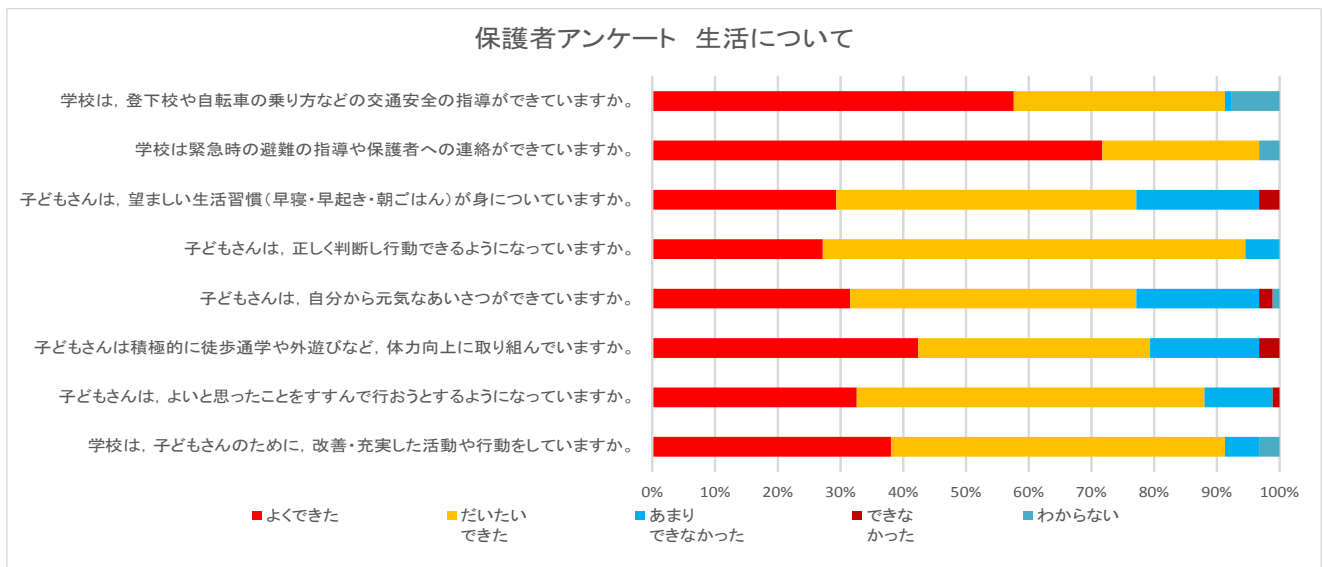
人権教育の項目については、全てが肯定的な評価「よくできた」「だいたいできた」をいただきました。

しかし、「学校では一人一人の人権が大切にされていると思いますか」については、12%の方が「あまりできていない」「わからない」と回答されています。本年度は、「いじめについてのアンケート」の回数を増やし、毎日の生活の中で子どもたちの様子をしっかりと見取り、教職員全員で子どもたち一人一人の思いを理解し、生活の中での問題を解決し、子どもたちが安心して生活できるように努めてきました。しかし、まだ、全ての子どもたちや保護者の方の思いが活かされているとは言えないという実態があることが分かりました。

#### <次年度に向けて>

教職員の人権意識を高め、子どもたちの思いに寄り添い、子どもたちの様子をより理解できるように努めてまいります。また、いじめが起こらないよう自他の人権を尊重し、いじめや差別を許さない子どもを育て、全ての子どもたちが学校生活が楽しいと感じられるように取り組んでいきます。

### (3)生活指導・安全教育について



#### <結果と考察>

安全教育に関するほとんどの項目について、肯定的な評価「よくできた」「だいたいできた」をいただき、子どもたちが安全に生活を送ることができていると考えられます。

しかし、生活習慣については、昨年より下回る項目がいくつかあります。特に「子どもさんは、望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についていますか」については、22%の方が「あまりできていない」「できていない」と回答されています。「やわたっこ生活」チェックなどを通して、自分自身の生活を振り返りそれぞれの目標を立てて取り組んできましたが、ゲームやスマートフォン等の使用時間の増加により就寝時刻が遅くなってしまったり、睡眠時間が短かったりする子どもたちが増加しています。

また、「子どもさんは、自分から元気なあいさつができていますか」についても、「あまりできていない」「できていない」との回答が22%となっています。朝の「おはようございます」や帰りの「さようなら」など決まったあいさつはほとんどの子どもたちができていますが、会った人に自分から進んで臨機応変にあいさつすることに課題があると考えられます。

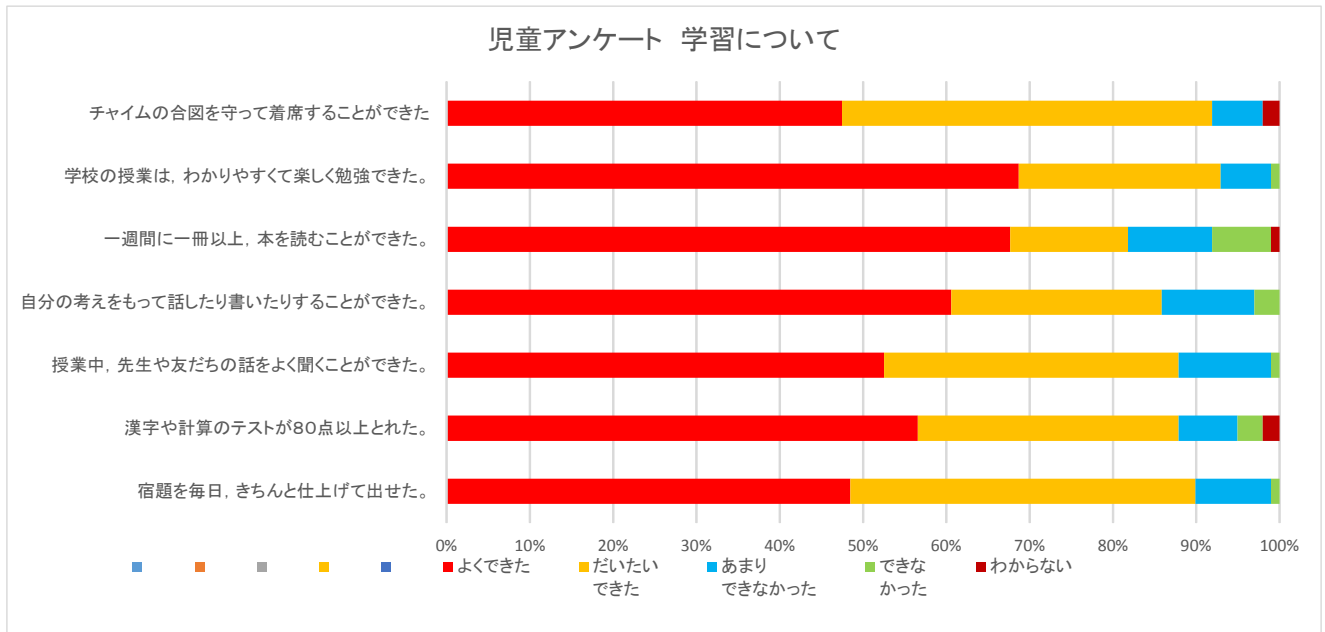
今年度は、「子どもさんは積極的に徒歩通学や外遊びなど、体力向上に取り組んでいますか。」について21%（昨年より6%増）が「できていない」「あまりできていない」と回答されています。夏場の熱中症対策や不審者対策により外に出る機会が減ってきていることもありますが、ゲーム等をする時間の増加と共に体力の低下が心配されます。

#### <次年度に向けて>

望ましい生活習慣については、学校と家庭で連携を取りながら改善が図れるように取り組んでいく必要があります。ゲームやスマートフォンの使い方についても今後さらなる指導が必要ですので、学校の方でも啓発活動を継続していきます。ご家庭でも話し合いをしてルールを決めるなどご指導をお願いいたします。

## 児童アンケート調査結果の考察

### (1) 学習について



#### <結果と考察>

学習についての項目については、全ての項目で昨年度のアンケートの結果より「よくできた」「だいたいできた」の肯定的な回答が増加しています。特に本年度は、読書について18%の改善がみられます。朝の読書時間を週1回を4回に増加したり、市場図書館員の方の協力で図書室の環境を改善したりした成果だと考えられます。始業のチャイム前の着席や話を聞く態度の向上がアンケート結果からもみられます。

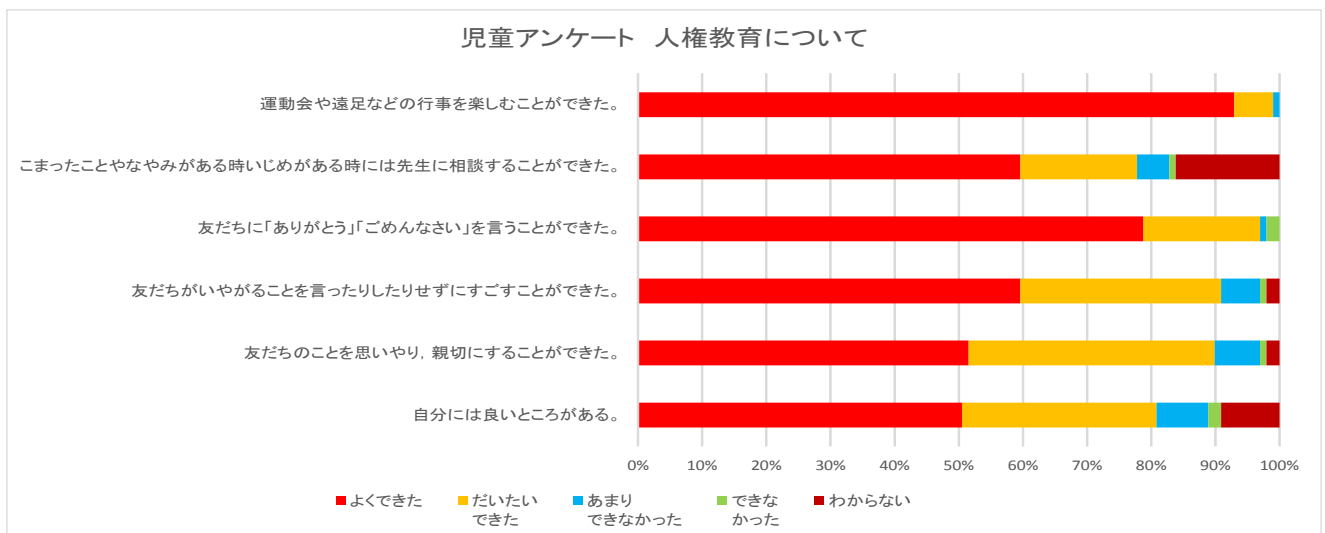
また、漢字計算等の基礎学力の向上に合わせて、自分の考えを筋道を立てて書いたり話したりする表現力思考力の向上に取組み、成果を上げています。「自分の考えを話したり書いたりすることができた」の項目は、肯定的な回答が一昨年度58%、昨年度79%が本年度86%へと大幅に上昇しています。そのことが児童の学習に対する意欲や自信にも繋がっています。

#### <次年度に向けて>

本年度に引き続き、読書時間や新聞記事を読む時間を確保し、文章にふれる機会を増やしていきます。また、授業においても、一人一人が考えをまとめ伝える活動を定着させていきます。

また、家庭学習についても自主学習に重点を置き、子どもが学習課題を明確にし主体的に取り組めるよう支援していきます。

### (2) 人権教育について



### <結果と考察>

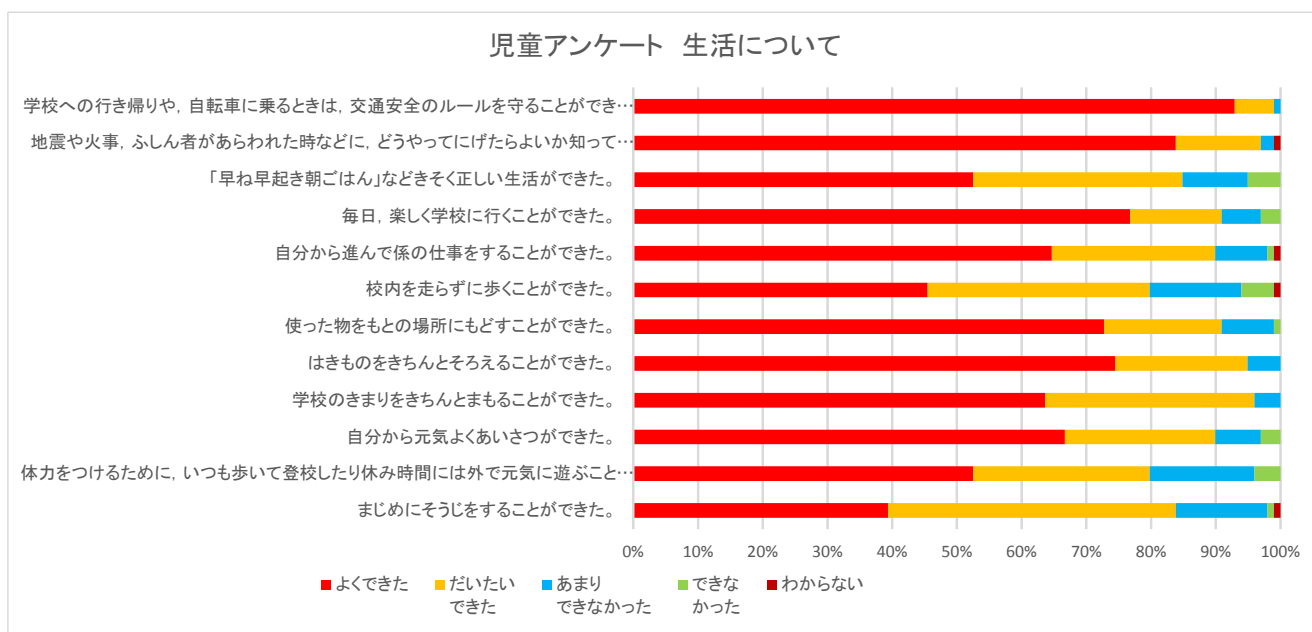
子どもたちの自尊感情が低いことが大きな課題であることから、本年度も引き続き子どもたちの自尊感情が向上できるように人権教育の推進を図ってきました。昨年度は「こまったことやなやみがある時、いじめがある時には先生に相談することができた」については「できた」と感じている子どもが58.2%でしたが、本年度は86%に上昇しています。また、「友だちにありがとうやごめんなさいを言うことができた」については、97%、「友だちがいやがることを言ったりしたりせずにごすことができた」については、91%といずれも増加しています。友だちを大切にできる意識が向上してきています。

しかし、「自分には良いところがある」の項目については、肯定的な回答が少し減少しています。全体的にできていることが増えてきている反面、自分自身については肯定的に受け止められていない現状がうかがえます。

#### <次年度に向けて>

自分に自信を持つことができ、お互いの存在を認め合える集団づくりを目指して継続した取組を行い、子どもたちの自尊感情をさらに高めていきます。ご家庭でも、お子様のよいところやできたことについてしっかり褒め、自信をつけられるようご協力お願いいたします。

### (3)生活指導・安全教育について



### <結果と考察>

生活についての項目は、ほとんどにおいて肯定的な回答が80%を上回り、全般的に落ち着いて生活が送れていると言えます。「早ね早起き朝ごはんなど規則正しい生活ができた」の項目についても向上し、生活習慣について啓発してきたこととご家庭でのご協力の成果だと考えられます。しかし、きまりを守ることについて「校内を走らず歩くことができた」の項目は、昨年度より向上していますが、「できていない」と感じている子どもが20%います。外遊び等の体力向上についても、20%の子どもたちが不十分だと感じています。

#### <次年度に向けて>

本年度から、道徳が教科化され子どもたちの道徳性の向上に向けて取り組み、あいさつやそうじについても自分から進んでできるように支援してきました。今後も引き続き、規範意識や体力の向上に向けて、手立てを工夫し取り組んでいきます。

保護者や地域の皆様の学校教育へのご理解・ご協力のおかげで、子どもたちのよりよい成長が見られた1年間でした。落ち着いた環境の中で子どもたちが安心して生活できることに教職員一同大変感謝しております。

保護者の皆様や子どもたちのアンケートの結果をこれからの教育活動に生かしていきます。今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。